

# 寺報

No.609

平成30年5月

蓮華寺  
行

## 御聖訓

譬<sup>たと</sup>えば、小児<sup>しょうに</sup>の火<sup>ひ</sup>を放<sup>はな</sup>つに、心<sup>こころ</sup>にあらざれども物<sup>もの</sup>を焼<sup>や</sup>くがごとし。  
法華<sup>ほけきょう</sup>経<sup>ま</sup>も亦<sup>また</sup>かくのごとし。存外<sup>ぞんがい</sup>に  
信<sup>しん</sup>を成<sup>な</sup>せば必<sup>かなら</sup>ず仏<sup>ほとけ</sup>になる。

『上野<sup>うえの</sup>尼<sup>あま</sup>御前<sup>ごぜん</sup>御返事<sup>ごへんじ</sup>』



### (解説)

たとえば、子供のいたずらによる火遊びで、思いもよらずに物を焼く事があります。

子供は、火が物を焼く性質があるという事は知りませんが、火は自然に物を焼いてしまうのです。

これは、我々の法華経信仰にも同じ事がいえるのではないのでしょうか。

我々が熱心に法華経を信仰したならば、必ず成仏するという事をなかなか理解出来ない人もいます。

しかし実はその功德は大変素晴らしく、その人が知らない内に自然に現れ仏になれるものなのです。こう日蓮大聖人は、我々にお説きになりました。

皆様の中には理屈が先になり、理解が出来ない事はないという人もいますが、『あくだ、こくだ』というよりも、まず法華経・お題目の信仰を実行する事が第一なのです。

どうか皆様も、大聖人のいわれるように疑いの心を捨て、真剣に心より法華経・お題目のお力を信じて、唱えていこうではありませんか。

五月十三日(日)

午後一時より

於…大本堂

しゃく こん ご こう たん え  
釈尊御降誕会  
(花まつり)



\*お釈迦様のお誕生日、甘茶の日です。  
\*皆様で、甘茶をかけお祝いしましょう。  
\*お供物も受け付けています。

なぜ甘茶？

『釈尊御降誕会』は、お釈迦様がお生まれになった  
ルンビニーの花園を再現して、花御堂を美しく飾り、  
その中央に誕生仏お姿のお釈迦様の立像を安置し、そ  
の仏頂にひしゃくで甘茶を注ぎ掛ける処から『花まつ  
り』といわれています。

甘茶を注ぎ掛ける理由は、お生まれになったばかりの  
お釈迦様が天と地を指さして、

「天上天下唯我独尊」(天にも地にもただ我一人のみ  
尊し、尊い者となって苦しむ人々を救おう)

と声高らかに叫んだ時に、天に住む『龍王』が感激の  
余り、天から清らかな香水を降らし、お釈迦様に産湯  
を使わせたというお話からきています。

我が国でも、昔は実際に五色の香水を作り使用してい  
たようですが、江戸時代頃には甘茶を掛ける習慣に変  
わって来た模様です。

甘茶は漢方薬の『アマチャ』の葉を煎じたもので、こ  
れを飲むと健康になるという所から、お釈迦様にあや  
かり、息災延命を願う使用した物と思われれます。

龍神様

古来より水の象徴、雨を呼ぶ神、蛇の化身とされる  
龍は、我々の生活と深く結びついてきたものです。  
龍は、水をはらむ川の蛇行する姿から想像したと思わ  
れますが、人間に不可欠な水を司どるという点から、  
大地に潤いをもたらす豊穰の主と考えられ、『龍神』  
として人格化されたといえます。

インドでは、龍は地上・水中・空中を支配する神と考  
えられ、お釈迦様を囲み仏法を守護するものとして祀  
られています。

また、中国ではめでたい想像上の動物の一つと考えら  
れ、雲を起こし雨を呼ぶ心霊とされてきました。  
つまり火を封じて、人間や建物を火難から守護する神  
としてあがめられたのです。

さて昭和二十年の七月、突然、当山蓮華寺の中庭の池  
の水があふれ出すという不思議な現象が起きました。  
何かの前触れではないかと思っていた矢先、青森市は  
「大空襲」に見舞われ、市内は一面焼野原となったの  
でした。

当山も、大本堂の屋根に幾つかの焼夷弾が当たり、本

堂内にもわずかながら火の手があがるという状態にな  
りましたが、その延焼を防ぐ為に、このあふれ出た池  
の水を汲んでは掛け、汲んでは掛けてついには火災か  
ら救われたのでした。

この奇跡は、当山の『龍神様』の多大なるお力による  
ものだとして、その後、池には『龍神様』の御堂と御  
姿をお祀りし、毎年ご法楽をして、今日に至っている  
のです。

以上の事から考えますと、我が国でも『龍神様』が寺  
院の天井・欄間・柱に巻かれたり、池・川・水の神と  
して祀られるようになったのは、日本に仏教が伝えら  
れた影響が大きいといえるでしょう。

また、日蓮宗の守護神の『七面天女』(身延山の鬼門  
を抑えてお山を守る神)も、龍(蛇)の化身といわれ  
日蓮大聖人の御弟子の日昭・日朗上人が、初めて登ら  
れた永仁五年(一二九七)九月十九日をもって七面山  
を開創の日としています。

我々にとって不可欠な水、大地を潤す水、しかし一旦  
粗末に扱おうと容赦なく自然を破壊する水、その水を司  
どる『龍神様』を大切にお祀りしていきましよう。

# 日蓮宗 『寺院参拝と懇親会』 のお知らせ

今年度の蓮華寺聖徒団・定時総会の日程が決定しましたので、此処にお知らせ致します。

今年初めて県内を飛び出し、秋田県の能代市にあり  
ます「本澄寺」(柴田寛彦住職)を参拝し、ご開帳・  
総会を開催致します。

その後、温泉『ホテル・サンルール大潟』に会場を  
移し、昼食と慰労を兼ねました懇親会を行います。

本澄寺ご住職は、日蓮宗では珍しくお医者さんとお坊  
さんを兼務している方ですので、何か参考になるお話  
を聞けるのではないかと思われまます。

是非ともこの機会を逃さず、沢山の皆様のご参加をお  
願い致します。

皆様も、なかなか行けない他県の日蓮宗のお寺を参拝  
してみましよう。

会員以外の皆様のご参加もご自由ですので、どんどん  
お申込み下さい。

## 総会の日程

日 時：六月二十四日(日)

集 合：蓮華寺・午前七時三十分【時間厳守】  
バ ス：出 発：午前七時四十五分  
帰 着：午後五時頃予定

場 所：総 会：本澄寺(秋田県能代市)

懇親会：『ホテル・サンルール大潟』  
(入浴施設はありますが、タオルは各自持参の事)

費 用：大人 五、〇〇〇円

子 供 三、〇〇〇円(小学生まで)

②ご開帳料、入館料、昼食代、交通費等を含む。

募 集：九十名(受付中)

持 参 品：数珠、聖徒団のタスキ、霊神符【お守り】

### 注意事項

一、本澄寺での供養・祈願をご希望の方は、当日の  
朝受付です。

\* 供養・祈願・・・各五百円

一、参加者は、必ず霊神符【お守り】を着体してき  
て下さい。

一、参加者は、全員聖徒団のタスキを使いますので  
この機会にお求め下さい。

\* 聖徒団のタスキ・・・三千元(事務所迄)

# 檀信徒研修会のお知らせ

五月二十六日(土)

## 『聖典の読誦と唱題行』

担当・・・住職上人

☆聖典の読誦(三十分)と唱題行(三十五分)

\*お題目は七百回以上唱えられます。

時 間：午後七時より

場 所：小本堂「イスや安座にて結構です」

持 参 品：聖典(事務所にて)・数珠・団扇太鼓

\*月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃  
さず、お経とお題目を心からお唱えしましょう。

\*ご自分の修行の為、懺悔滅罪(反省)の為、家族や  
友人の為、また仏様や先祖の供養の為、と各々の各  
自の目標に向い頑張つて修行して下さい。



## 『靈 断』

檀信徒の皆様で、日頃から何か困り事や悩み事があ  
りましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『靈断』にて当山僧侶が解決、ご  
指導致します。

なお、宗旨宗派は問いません。 ☎776-5840

【ご相談料は一件につき三、〇〇〇円です】

## 『提灯』の募集!

当山で「鬼子母神大祭」「御会式」「お正月」の際に  
掲揚します『提灯』(トローロ)を限定で急募致します。

作成価格は八千円で、年間の管理費が二千円となりま  
すので、初年度のみ一万円となります。

## 『聖徒団会員』募集!

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職上人が  
各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞  
【聖徒タイムズ】・寺報等の援助などに活用します。

会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

### 「水子さん」のご供養

当山境内地の雪も消えましたので、今年も新たに『水子観音様』専用の「風車」をご供養の為に仕上げ下さい。

一体七〇〇円で、葉の部分に【供養】が書き入れる事が出来ますので、ご希望の方は事務所までお申し付け下さい。

また、当山では、この世に生を受ける事なく仏様の世界に旅立たれました水子さん、また早くに亡くなられた子供さんのご供養の為に、境内に『観音様』を安置しています。

この『観音様』の台座の中には、施主の名前を書き入れました「法名紙」が奉納出来ます。

各自、「水子」「子供」の戒名や俗名、また「水子一切の霊」などを書き入れてもらい、奉納して下さい。

★本堂で法要を行いご供養した後、「法名紙」を観音像の中に奉納する場合。 【二万円】

★観音像の前で直接ご供養し、「法名紙」を奉納する場合。 【一万円】

(注)（ご本人が立ち会えない場合は、お寺の方で読経後

に奉納します）

どうか檀信徒の皆様も、生きている子供達と同様に、亡くなられた子供達にも精一杯の愛情をそそがれる様にお願ひします。

詳しくは当山にお問い合せ下さい。

### 『位牌壇』募集中！

★お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様の御先祖や仏様が今後代々に渡りご供養されていきます。

★仏様の御命日に当たる時に、旅行や諸用などで不在でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またお経も唱えさせて戴きます。

★特に青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので、『位牌壇』がありますと、常にお参りが出来ます。

★やむなくご親戚やご友人に譲渡する場合は、お寺にご連絡下さい。

★分割は三年間の内に、回数（最長三十六回）はご相談下さい。

### 五月の行事

一 日(火) 盛運祈願会 午後一時より

・毎月のお守り【霊神符】の交換の日です。

・必ずお勤めに参拝し、お題目とお経を唱え、感謝の気持ちを込めてお守りを交換しましょう。

・聖典（お経本）と数珠は必ずご持参下さい。



十三日(日) 日蓮大聖人のご命日 午後一時より

・お経 [如来神力品第二十一 (訓読・日本語読み) 如来寿量品第十六 (真読・漢字読み)]

・どなた様も、大聖人への御報恩を忘れずに参拝しお題目とお経を唱えましょう。

十三日(日) 釈尊降誕会【花まつり】 午後一時より

十九日(土) 龍神様・七面様大祭 午後一時より

二十六日(土) 檀信徒研修会【唱題行】 午後七時より

### ☆奉仕のお知らせ

十三日(日) 花まつりの準備とお手伝い

◎教宣部男女・・・午前十一時より

※『花まつり』の行事は、大本堂で十三日講のお勤めの中で執り行われています。

どうぞ、ご参拝かたがたお手伝いをよろしくお願ひ致します。

十九日(土) 龍神様・七面様大祭の準備とお手伝い

◎教宣部男女・・・午前十時より

\*当山客殿に於きまして、祭壇を設けて、行事を執り行っていますので、お手伝いをよろしくお願ひ致します。

奉仕部長・山田兼補 教宣部長・杉淵昌三  
伝道部長・小野正春

### ☆十三日(日蓮大聖人の月命日)の

お勤めには必ず参拝しましょう！

毎月十三日 午後一時より

# 龍神様・七面様大祭

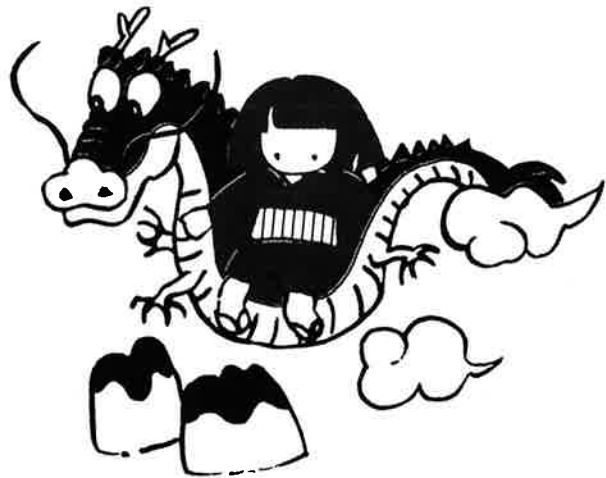
五月十九日 (土)

午後一時より

於：蓮華寺客殿



七面天女



- \* 龍神様・七面様の御神体ごしんたい、掛軸の御法楽 (二千元)
- \* 一般御法楽 (千元)、祈願 (八百円)
- \* 御神酒、お供物も受け付けています。
- \* 祈願・御法楽をお申込みの方にお札ふだを差上げます。